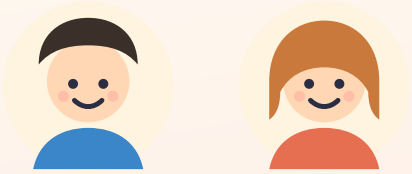
Season 9 | No.90



妖怪と民話

不思議な話の世界をのぞいてみよう



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 **見て・ふれて・感じる**
写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2 **「なぜ？」を考える**
行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3 **「やってみよう」で体験する**
答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken（ケン）
日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

妖怪の入り口 3〜4
妖怪図鑑 5〜8
妖怪と民話の世界 9〜15
見て・ふれて 16〜17
深めよう 18〜22
まとめよう 23〜24
ふり返り 25〜30

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 1

妖怪ってなに？

妖怪がどんなものか考えてみましょう。

妖怪とは、昔の人が、自然の中の不思議な出来事や、説明のつかないできごとを語り伝えるために生み出してきた存在のことです。
川や山、夜道など、暮らしの中のさまざまな場所に、妖怪にまつわる話が伝えられてきました。



よく知られている妖怪

河童　天狗　鬼　座敷わらし　雪女　ろくろ首

地域によって、姿や名前が少しずつちがうこともあります。

ポイント

- 妖怪の話は、自然への恐れや不思議さを人にわかりやすく伝える役目もあったといわれています。
- こわい話だけでなく、家に幸せを運ぶといわれる妖怪もいます。

やってみよう

1. 知っている妖怪の名前を1つ書いてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 2

妖怪の歴史

妖怪がどのように語り伝えられてきたか見てみましょう。

妖怪の話は、大昔から語りつがれてきたと考えられています。絵巻物という絵の巻物に、たくさんの妖怪が並んで描かれた作品も残されています。
江戸時代には、妖怪の絵を集めた絵巻や絵本が作られ、人々の間で妖怪への興味が広がったといわれています。



ポイント

- 妖怪の姿は、時代や地域によって少しずつ変わっていったと考えられています。
- 絵に描かれることで、姿や特徴が多くの人に知られるようになりました。

やってみよう

1. 妖怪の絵を見たことがあれば、どんな姿だったか思い出してみよう。

書いて覚えよう

Lesson
3-4

かっぱ・天狗

水にすむ河童と、山にすむ天狗について学びます。

河童

かっぱ／kappa

川や沼にすむといわれる妖怪。頭に皿があるとされる

天狗

てんぐ／tengu

山にすむといわれる妖怪。長い鼻をもつ姿でえがかれることが多い

ポイント

- 河童の話には、川や沼での事故に気をつけるよう伝える意味もあったといわれています。
- 天狗は、山にくらす修行者（山伏）のイメージと結びついているともいわれています。

やってみよう

1. 川や山で気をつけたいことを1つ書いてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 川や沼のそばで遊ぶときは、大人といっしょに、安全を確かめてから遊びましょう。

書いて覚えよう

Lesson
5-6

鬼・座敷わらし

力強い鬼と、家に幸せを運ぶといわれる座敷わらしを学びます。

鬼

おに／oni

力が強く、こわい姿でえがかれることが多い存在

座敷わらし

ざしきわらし／zashiki-warashi

家にすみつき、幸せを運ぶといわれる子どもの姿の妖怪

鬼

節分の豆まきなど、季節の行事にも登場する

座敷わらし

東北地方の古い家に伝わる話が多いといわれる

ポイント

- 鬼はこわい存在として語られることが多い一方、悪いものを追いはらう役目でも登場します。
- 座敷わらしは、見た人に幸運が訪れるといわれています。

やってみよう

1. 節分の行事で、鬼にまつわる習わしを知っていたら書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 7

雪女

雪の日に現れるといわれる雪女について学びます。

雪女は、雪の降る夜に現れるといわれる妖怪で、白い着物を着た女性の姿でえがかれることが多いです。
雪の多い地域に古くから伝わる話で、地域によって物語の内容が少しずつちがうといわれています。



ポイント

- 雪女の話には、雪山や吹雪の危険を伝える意味もあったと考えられています。
- 同じ雪女でも、地域によって性格や結末がちがう物語があります。

やってみよう

1. 雪の多い地域で気をつけたいことを考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
8-9

ろくろ首・一つ目小僧

首が長くのびるろくろ首と、目が1つの一つ目小僧を学びます。

ろくろ首

ろくろくび／rokurokubi

首が長くのびるといわれる妖怪

一つ目小僧

ひとつめこぞう／hitotsume-kozou

目が1つの子どもの姿でえがかれる妖怪

ポイント

- ろくろ首の話は、地域によって首がのびる理由や結末がちがうことがあります。
- 一つ目小僧は、決まった日にだけ現れるという話が伝わる地域もあります。

やってみよう

1. この2つの妖怪の話を聞いて、どんな感じがしたか書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 10

つくも神

長く使われた道具が変化するといわれるつくも神を学びます。

つくも神とは、長い年月使われた道具に魂が宿り、妖怪になるといわれる存在です。古くなった傘や器などが変化する話が伝えられています。
この話は、ものを最後まで大切に使う気持ちと結びついているとも考えられています。



ポイント

- ものを大切にする「もったいない」の心が、こうした話に表れているといわれています。
- つくも神は、こわい存在としてよりも、ユーモラスにえがかれることもあります。

やってみよう

1. 家で長く使っているものを1つ思い浮かべてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 11

妖怪の絵巻

妖怪をえがいた絵巻物について学びます。

妖怪の姿は、絵巻物という長い絵の巻物に多く残されています。たくさんの妖怪が行列のように並んでえがかれた作品もあります。
江戸時代には、妖怪を図鑑のようにまとめた絵本も作られ、人々に親しまれたといわれています。



ポイント

- 絵に残されることで、後の時代まで妖怪の姿が伝わりました。
- 絵師によって、同じ妖怪でも少しずつ姿がちがってえがかれています。

やってみよう

1. 自分が妖怪の絵を描くなら、どんな道具を使いたいか考えてみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
12-13

妖怪と地域・民話ってなに？

妖怪と地域のつながり、そして民話という言葉の意味を学びます。

民話

みんわ／minwa

その土地に伝わり、語り継がれてきた話

妖怪と地域

同じ名前の妖怪でも、地域によって姿や話の内容がちがうことがあります。その土地の自然や暮らしが、話に影響しているといわれています。

ポイント

- 民話は、文字ではなく口で語り伝えられてきたものが多いです。
- 妖怪の話も、民話の大切な一部です。

やってみよう

1. 自分の住む地域に伝わる話を知っていたら、1つ書いてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
14-15

地域の民話・民話の語り方

地域ごとの民話と、その語り方を学びます。

民話の語り方

民話は、家族やお年寄りから子どもへ、口づたえに語られてきました。紙芝居のような形で伝えられることもあります。



Ken
おじいちゃんが、地域に伝わる不思議な話をしてくれるんだ。

Emma
わたしも聞いてみたいな。どんな話なの？



ポイント

- 同じ話でも、語る人によって少しずつ表現がちがうのが民話の特徴です。
- 地域の図書館などで、民話を集めた本を読むこともできます。

やってみよう

1. 家族に、地域や家に伝わる話を聞いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 16

妖怪と自然への思い

妖怪の話にこめられた、自然への思いを考えます。

ポイント

- 雷や山、川など、自然の中の不思議な出来事を説明するために、妖怪の話が生まれたとも考えられています。
- 妖怪の話には、自然を敬い、こわがる気持ちが表れているといわれています。

自然と結びつく妖怪の例

雷様（雷）　天狗（山）　河童（川）　雪女（雪）

やってみよう

1. 自然の中で、不思議だと感じたことを1つ書いてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
17-18

今の文化の中の妖怪・妖怪を描いてみよう

今の文化に登場する妖怪と、自分で妖怪を描く体験をします。

今も出会える妖怪

妖怪は、今もアニメやマンガ、ゲームなど、さまざまな作品に登場しています。昔からの姿をもとに、新しい妖怪が生み出されることもあります。

自分だけの妖怪を考えてみよう

例：家の中で靴下が片方だけなくなるのは、くつしたようかいのしわざかもしれない。

ポイント

- 昔の妖怪と、今生まれる妖怪は、どちらも人の想像力から生まれています。

やってみよう

1. 身近な出来事から、新しい妖怪を1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 19

民話を集めよう

身のまわりの民話を集めるヒントを学びます。

ポイント

- 家族や地域の人に聞くと、本には載っていない話に出会えることがあります。
- 聞いた話をノートに書きとめておくと、あとで読み返せます。

やってみよう

1. 家族や近所の人に、昔から伝わる話を聞いてみよう。

2. 聞いた話のタイトルを考えてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 次のページからは、妖怪や民話にもっとふれて、理解を深めていきましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 20

写真や実物を見てみよう

見て、ふれて、妖怪と民話をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

絵や写真の資料　博物館・資料館の展示　図書館の本　テレビ番組　インターネットの動画

実物や映像を見ると、文字だけではわからない雰囲気に気づけます。

ポイント

- 博物館や資料館では、説明を読みながら見ると理解が深まります。
- 家にある古い本や道具も、立派な資料です。

やってみよう

1. 家や学校で、妖怪と民話を感じるものを1つさがしてみよう。
2. 博物館や資料館に行けたら、印象に残ったものを1つ書こう。

ワンポイント 大切な展示物にはさわれないことが多いので、注意書きをよく確認しましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 21

体験してみよう

実際に体験すると、妖怪と民話はもっと楽しくなります。

やってみよう

声に出して読む　自分で調べる　絵や文章にしてみる　家族に話してみる

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

ポイント

- 体験すると、本やインターネットだけではわからない発見があります。
- むずかしく感じたら、まず短いものから試してみましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 体験してみて気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 22

由来と意味をおさらい

学んだ妖怪と民話の由来や意味を確かめましょう。

妖怪・言葉	由来・意味
河童	川や沼にすむといわれる妖怪
座敷わらし	家にすみつき、幸せを運ぶといわれる妖怪
つくも神	長く使われた道具に魂が宿るといわれる存在
民話	その土地に伝わり、語り継がれてきた話

ポイント

- 由来を知ると、ことばや習わしの意味がより深く理解できます。
- 「なぜそうなのか」を調べる習慣を大切にしましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらび、家族に説明してみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 23

地域によるちがい

妖怪と民話には、地域によるちがいもあります。

共通すること

各地の妖怪の話に見られること

自然への恐れや不思議さ
山・川・雪などと結びつく

口で語り伝えられる
家族や地域で受け継がれる

ちがうこと

地域によってちがうもの

妖怪の名前や姿
土地によって呼び方がちがう

話の結末
こわい結末と幸運な結末がある

ポイント

- 「日本では必ず〜する」と決めつけず、地域や家庭によるちがいを大切にしましょう。
- アイヌの人々や沖縄など、独自の歴史をもつ文化にも目を向けてみましょう。

やってみよう

1. あなたの地域ならではの話や習わしを1つ書こう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 24

昔と今をくらべよう

妖怪と民話は、時代とともに少しずつ変わってきました。

昔

妖怪の話が生まれたころ

自然のできごとを説明する
雷や災害の理由として語られた

口や絵巻物で伝える
文字より語りが中心だった

今

今の妖怪との出会い方

アニメやマンガで楽しむ
新しい妖怪も生まれている

本や資料館で学ぶ
昔の姿を確かめられる

ポイント

- 形が変わっても、大切にされてきたものは受け継がれていることが多いです。

やってみよう

1. 家族に、昔と今で変わったと感じることを聞いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 25

よくある疑問

妖怪と民話について、よくある疑問を確認しましょう。

よくある疑問

Q. 妖怪は本当にいるのですか？
A. 実在が確かめられているものではありません。人々の想像や、自然への思いから生まれた存在と考えられています。
Q. どうして地域によって妖怪の話がちがうのですか？
A. それぞれの土地の自然や暮らし、伝え方がちがうためです。

ポイント

- わからないことは、そのままにせず、本や詳しい人に聞いてみましょう。

やってみよう

1. あなたが妖怪と民話について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

マナーと注意点

妖怪と民話にふれるとき、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 妖怪の話をするときは、こわがらせすぎないよう気をつけましょう。
- 地域に伝わる話を聞くときは、話してくれる人に敬意をもちましょう。
- 絵巻物や資料館の展示物は、大切にあつかいましょう。

ワンポイント 民話や妖怪の話は、地域によって細かい内容がちがうことがあります。「これが正解」と決めつけず、いろいろな話を楽しみましょう。

やってみよう

1. 気をつけたいと思ったことを1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 27

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

妖怪の仲間

- ☐ **河童**
  川や沼にすむといわれる妖怪
- ☐ **天狗**
  山にすむといわれる妖怪
- ☐ **座敷わらし**
  家に幸せを運ぶといわれる妖怪

民話のことば

- ☐ **民話**
  その土地に伝わり語り継がれてきた話
- ☐ **つくも神**
  長く使われた道具に魂が宿るといわれる存在
- ☐ **絵巻物**
  妖怪などをえがいた絵の巻物

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、妖怪と民話がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 28

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

河童	●	● ア. その土地に伝わり語り継がれてきた話
天狗	●	● イ. 家に幸せを運ぶといわれる妖怪
座敷わらし	●	● ウ. 長く使われた道具に魂が宿るといわれる存在
民話	●	● エ. 川や沼にすむといわれる妖怪
つくも神	●	● オ. 山にすむといわれる妖怪

2. 正しいほうに○をつけよう

1. 妖怪の話は地域によって内容がちがうことがある → （ 正しい ／ まちがい ）
2. 妖怪はすべてこわい存在としてえがかれる → （ 正しい ／ まちがい ）

書いて覚えよう

Lesson 29

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	妖怪の名前を3つ以上言える	河童・天狗・鬼など
☐	民話という言葉の意味を説明できる	土地に伝わる語り継がれた話
☐	地域による妖怪の話のちがいを説明できる	多様性への理解
☐	家族に地域の話を聞いてみた	身近な民話との出会い

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 30

家族や友だちに話してみよう

学んだ妖怪と民話を、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたい妖怪・民話	
由来や意味	
自分が感じたこと	
相手に聞いてみたいこと	

Ken の例

伝えたい妖怪・民話 座敷わらし／由来や意味 家にすみつき幸せを運ぶといわれる妖怪／自分が感じたこと 少しこわいけれど親しみも感じた／聞いてみたいこと 外国にも家にすむ不思議な存在の話があるか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 31

英語で紹介してみよう

妖怪と民話を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

妖怪

yokai

日本に伝わる不思議な存在

民話

folktale

その土地に伝わり語り継がれてきた話



Emma

What is 'yokai' in English?



Ken

We usually just say 'yokai', but you can also say 'a Japanese folklore creature'.

ポイント

- 日本語の言葉をそのまま使い、あとで意味を説明する方法もあります。

やってみよう

1. 紹介したい妖怪や民話を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 32

もっと知りたい人へ

妖怪と民話の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で
関係する本を借りる

博物館へ
実物の展示を見に行く

動画で
映像や音を確かめる

次に学びたいテーマ

絵巻物
妖怪をえがいた昔の絵

年中行事
節分など妖怪と関わる行事

各地の伝説
地域ごとの不思議な話

ポイント

- この教材の次は、関連するテーマをさらにくわしく学んでいきましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 妖怪や民話とは、どんなものだと思いますか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 学んだ中でいちばん印象に残った妖怪や話は？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから知りたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

妖怪と民話ミッションカード

MISSION 1
家族に地域や家に伝わる話を1つ聞いてみる

MISSION 2
好きな妖怪を1つ選んで特徴をまとめる

MISSION 3
妖怪や民話の本を1さつ読んでみる

MISSION 4
聞いた民話を友だちに話してみる

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

妖怪と民話チャレンジ

教室の外でも、妖怪と民話はすぐに見つけられます。

見つけよう

本や図書館で**妖怪や民話**についての本を1さつ手に取る

聞いてみよう

家族に**地域に伝わる話**について質問する

伝えよう

好きな妖怪や民話を**友だちや家族に紹介**する

こたえ

L28 河童→エ 天狗→オ 座敷わらし→イ 民話→ア つくも神→ウ
1. 正しい ／ 2. まちがい

L33 （例）妖怪や民話とは、人々が自然への思いや暮らしの知恵を語り伝えてきた話のこと。

書いて覚えよう

妖怪と民話（Season 9 ｜ No.90）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。